

◆隨想◆

懐かしい遊びとその道具(五回最終話)

変化するおもちゃ今と昔

古橋昭子（青山学院大学名誉教授・理学博士・湘南日独協会会員）



囲碁、将棋、チエスなど世の中すっかり変って玉を
は二人で楽しめるので良い。一粒ずつ入れて遊ぶパチン
縁台で楽しむ“へぼ将棋”。コしか知らない私には今の
などは昔のことだろう。碁 パチンコは想像もつかない
も暮会所に行けばいつでも けれども、もうかる訳は無
楽しめるのかしら。最近の さそうだ。
学生は昔ほどマージャンを 黄、熱海の温泉に父と
しなくなつたらしい。パチ 行った時、コリントゲーム
ンも一人で遊べて良いが、をして遊んだことがあった。
(イフスト・金子繁治)

一番真ん中に入つてもキャラ
ラメルぐらいしかもらえない
かった。

音の出るおもちゃも住宅
事情によつては考えたもの
だが、近くの公園で毎日の
ようにトランペットを吹く
人がいてまいつたが、だん
だんうまくなつていたよう
だった。だがある日からび
たりと来なくなつたのは苦
情でも出たのだろうか！

グライダーを作つて飛ば
す遊びも楽しい。おもちゃ
と遊びは電化製品の発展に
より信じられない変化をし
続けてはいるが、昔からの
遊びが無くなるということ
は無いだろう。